

第18回 SC サテライト放送株式会社 番組審議会 議事録

1. 開催日時： 2024年12月13日(金) 13時00分～14時30分

2. 開催場所： ショップチャンネル本社ビル

3. 審議委員出席者：

委員総数 6名

出席委員の氏名 音好宏氏(委員長)、入江たのし氏、五井千鶴子氏、棚橋節子氏、
桧山珠美氏、細川幸一氏

4. 事業者側出席者：

SC サテライト放送株式会社

代表取締役社長 佐々木 良太

メディア営業部長 濱田 哲史

技術部長 高野 浩司

ジュピターショップチャンネル株式会社

執行役員 販売企画本部長 江原 由美

兼 プランニング部長

販売企画本部 プログラミング部長 時崎 大介

ショッピングエンターテインメント戦略室 吉田 忠孝

エグゼクティブプロデューサー

株式会社CS日本

編成局 日テレNEWS24 編成部 部長 福本 径

日本テレビ放送網報道局 長谷部 真矢

5. 番組審議：

(1) ショップチャンネル / ショップチャンネル 4K

審議番組：エヌエフ 自社牧場で育つ希少な羊毛ニットブランド

放送日時：2024年10月4日(金) 20:00～21:00

■ 審議委員意見

- 寒い時期にすごく暖かそうなセーターの番組で、興味深く拝見した。
セーター以外にも、ワンピースやカーディガン、ベストなどもあり、コーディネート提案もあるのが良い。
商品の説明も、素材の良さも、丁寧に説明があり良かった。
情報として、日常使いや、着用して仕舞う際のお手入れのアドバイスや表示があった方がいい。
- サイズと手入れ方法は買う側として気になるので、早い段階で情報を出して欲しい。番組中に何回か案内や情報を出してもいいと思う。

- この時間に紹介する商品を冒頭で全て見せてくれたのは良かった。
また、着用していたモデルは美しく背も高い方だったので、自分が着たらどうなのかと感じたが、司会のキャストが自分の身長を話しながら着用イメージを見せてくれたのはとても良かった。
素材の説明として、内モンゴルの映像があり、健康に育った羊の産毛でつくられているというのが視覚的にとてもわかりやすく良かった。産毛以外の毛はどうなるのかが気になった。
- 色の紹介の際、色によっては反射で見え辛かったものがあった。照明の加減をして欲しい。
アイテムによって色がたくさんあるものと、2色だけのものがあるのは、事情があるのかと疑問に思った。
また、リバーシブルのヘアバンドの紹介があったが、柄違いなのか、素材違いなのか、何がリバーシブルなのか、説明がなかった。
- 商品を説明するゲストが、飼育している羊のことを「この子」と表現しており、商品に愛情が込められていることを一番感じた。
ゲストとキャストの会話に必ずBGMがあったが、今回この音楽が必要だったのか、気になった。
また、色の紹介で「杓グレー」等に使われていた、「杓」という言葉がよくわからなかった。
- この番組自体が「ゴーゴーバリュー」というタイトルが付いて紹介され、ロゴのようなものも表示されているが、「ゴーゴーバリュー」が何なのかわからなかった。
商品の素材はメンヨウジュウで、カシミヤとは違うと誤解の無いように説明されていたが、最後にカシミヤがブレンドされたストールが紹介され、これだけ素材が違うのかと疑問を持った。
- 工場型畜産ではない、広い牧場で生き生きと育った動物の生産物を製品にしていることにはあまり触れられていなかったようだが、SDGs やアニマルウェルフェアの観点からも、もっとアピールしてもいいのではないか。
- 紹介商品の素材の話で、表示は「毛」となっていたが説明では「ウール」と言っていた。ウールと言った場合と毛という表示は何か違うのか。
また、メンヨウジュウという言葉は初耳で検索してみたがヒットしなかった。カシミヤとどう違うのか、よくわからなかった。ブランド名の「エヌエフ」、ゲストを紹介する際の会社名、中国の工場についてもよくわからず、生産者は誰なのか、ゲストはどういう会社の人なのか、少し分かり辛いと感じた。
- 商品の実物を触ってみたいと強く感じた。テレビでは、温かい・冷たいという温度感や、触った感覚、ものの大きさなどは本来表現しにくいものだが、言葉を丁寧に使い、肌触りが良いと想起させる表現が上手いと思った。暖かそうな雰囲気伝わり、素晴らしいと思った。
今回の内容は全体として、非常に好感を持てる商品の紹介で、ラインナップもよかった。
DVD で番組をみたので画質は2K だったが、こういった映像の表現は4K の強みだと思うので、この先が楽しみだと感じた。

■ 事業者発言

- 委員の皆様から貴重なご意見を多くいただき、勉強になる。番組に関しては、全体的に好感を持っていただけただことは非常に有難い。キャストの説明や見せ方の技術だけでなく、カメラワーク等、スタジオが丸となったライブ放送で、良い番組が作れていると言っていたことは大変有難く、嬉しく思う。
- 「ゴーゴーバリュー」については、ショップチャンネルの看板企画番組の1つだが、導入部分で説明がなかったことは、ご案内不足だったかと思う。視聴者の皆様には丁寧にのご案内していくよう心掛ける。
- ファッション系の商品を取扱うにあたり、お手入れについては案内が少し不足していた。今回は画面上で表示する程度であり、お客様がお買い物を楽しんでいただくにあたっては、番組中にきちんと説明すべきであったと反省点だった。
- 番組では、最初にモデルが商品を着用している映像からご覧いただいている。これは、お客様にはまず素敵なイメージ、楽しい気持ちでお店に入ってきていただきたいという始まりの演出で、その後、ゲストの方やキャストが着用して、購入後の着用イメージを持っていただいている。体型も様々なキャストがいるので、身長と着用サイズをご案内することは、どの番組でも行っている。
また、ウェブサイトでは、社員が商品を着用した写真も掲載しており、コーディネート提案や、サイズ選びの参考にさせていただきながらお買い物ができるという取り組みも行っている。
- 今回の「エヌエフ」の商品はショップチャンネルのオリジナルに近く、まだ紹介し始めて日が浅い。内モンゴルの映像や自社工場の様子をご覧いただき、安心してお買い物いただける会社であることをお伝えしたが、冒頭でゲストをもっときちんと紹介してはどうかというご意見はもっともだと思う。今後参考にさせていただきたい。
- 番組冒頭で、商品ラインナップは全て一度ご覧いただき、その後メインとなる商品には時間をかけながら、順番に商品を紹介している。商品によって色展開や数が異なるのは、店づくりのひとつなので、買い付けを担当するバイヤーと協議している。今回、リバーシブル等の説明が不足していたことを受け、1時間の番組内で紹介する適正な商品数はどの程度なのか、今後も販売計画をしている部署と検討していく。
- SDGsに関する取り組みのアピールが足りないとご意見をいただいた。確かに言葉としてSDGsを伝えている場面は少なかったが、愛情をもって大切に育てられた羊を原料とし、更にこの製造が現地の方々の生活にも貢献できている、という今回のような商品は今後もご紹介していきたい。
また、今回の商品は上質なニットになる産毛だけで作られているが、産毛以外の部分は、カーペットなどの様々なものに使われている。
- 番組のBGMについては、現在、ファッションに特化したスタジオを作り、ファッション以外の番組と差別化するために、様々な試行をしている。BGMもその試みの一つだが、今回、モデルショット、解説両方にBGMがあることでお客様に言葉の聞きづらさや煩わしさがあったと感じている。
ファッションアイテムを素敵に演出できるよう、検討を続けていく。
- 番組内で、紹介商品ではないパンツなど、お客様がお持ちであると思われる洋服との組み合わせのコーディネート提案は楽しんでいただけたようで、良かった。

(2) 日テレNEWS 24

審議番組：① 週刊地震ニュース 東日本大震災の震源域の今は？ 7000メートルの海底の下を探る
 壮大プロジェクト開始 地球深部探査船「ちきゅう」船内公開

②立憲民主党代表選挙決選投票＋解説

放送日時：①2024年9月9日（月）20:00～20:30

②2024年9月23日（月）14:07～14:38

■ 審議委員意見

- ・ 目まぐるしく多彩な情報が流れている中でも、常に同じ位置に全国の天気予報が表示され、視聴者の日常生活に必要な情報を取り込めるニュースの見せ方は勉強になる。
- ・ 様々なニュースのトピックスは、その日の出来事が簡潔にわかるようにできている。ニュースの緩急・大小を考えてつくられているのがわかった。
- ・ このスタジオは報道フロアにあるのか、背後の音が入り込んでいたことが気になった。
- ・ 画面左側の情報部分が白基調で天気等もとても見やすくなった。また、キャスターの声も落ち着いて聞きやすい印象だった。
- ・ 日テレ NEWS24 はどういった層の方が視聴されているのか。リアルとオンデマンドを組み合わせるような試みは行われるのか。例えば、様々なメニューからリモコンのボタンで選んで視聴できるような、そういった未来の可能性はあるのか。
- ・ 週刊地震ニュースという番組、通常、地震は起きた時にしか報じられないが、地震について詳しく説明する番組はとても良いことだと思う。日テレ NEWS24 ならではの。
- ・ 東日本大震災の震源地の調査や、これから起こり得る災害について、自治体も含め視聴者の目が向けられていく良いきっかけになると実感した。
- ・ 週刊地震ニュースについては、MC と記者で探査船「ちきゅう」の説明をしていたが、よく理解ができない点があった。
- ・ 週刊地震ニュースは、関東大震災の9月1日から1週間以上経っている9月9日に放送している。9月1日や3月11日にはよく特集が組まれるが、その後は手薄になってしまう。そういう時期に深掘した調査の番組を放送していること自体、意義があると感じた。
- ・ 週刊地震ニュースの特集は素晴らしいと思った。表面的には見えていないものを、時間をかけて説明するところはジャーナリズムの使命だと思う。ここで制作された番組は地上波やBS では放送しないのか。

- ・ 週刊地震ニュースについて、日テレ NEWS24 は災害情報の提供を積極的に行っていると感じた。探査船「ちきゅう」の船内公開のような、科学に関する内容はわかりにくくなりがちだが、丁寧に説明されていて、良かった。
- ・ 立憲民主党の代表選について、地上波のニュース番組では、自民党総裁選とは比べ物にならない程度の放送時間だったが、この番組では丁寧に解説されており、視聴者が欲しいと思う情報を正確に迅速に伝える、とても良い番組だと思った。
- ・ 立憲民主党の代表選に関する解説が非常にわかりやすかった。代表が野田氏に決まった後の自民党総裁選に対する踏み込んだ意見もあり、解説者の見解がよく理解できた。
- ・ 突発的な事象に対する特集であるブレイキングという形で、立憲民主党の代表選の瞬間に解説を含めて放送することには非常に意義があると思うが、今般、韓国の大統領が非常戒厳宣言を出した時に日本のメディアはどこも報道しなかった。CNN や BBC は報道したのではないかと思うと残念に感じた。機動力をみせて欲しい。
- ・ 立憲民主党の代表選については、通常のニュース番組では非常に短い時間の放送となるが、しっかりと解説があり、24 時間のニュース専門チャンネルだからこそだと感じた。日本テレビのアナウンサーのニュース読みは非常に上手で、情報の中身を理解して読まれてることが感じられ、夜中などはよく利用している。

■ 事業者発言

- ・ 温かいご意見を有難く思う。スタッフにも共有して、励みにしたい。
週刊地震ニュースに関しては、気象庁担当の専門記者が、視聴者の皆様の興味や関心が高いと思われる分野を掘り起こしてお送りしている。
- ・ 日テレ NEWS24 は CS のみの放送だが、特集を一部ウェブサイトで公開しており、アーカイブになっているので、地震に関する検索をされた方にヒットしてご覧いただくことができる。
何かブレイキングで特集すると、Yahoo!ニュースでも該当する部分が視聴できるようになるので、比較的多くの方にウェブ上でリーチできている。アプリでご覧になる方も多い。
- ・ 視聴者層については、様々な方が契約されてご覧になっているが、官公庁の方なども含み、24 時間のニュース放送は多くの方にご視聴いただいている。
- ・ 韓国の大統領の件は、我々も反省材料としている。海外のニュースには言語の壁があり、例えば、アメリカのニュースであれば、内容と時間によっては同時通訳をつけずに英語のまま流すことはあるが、韓国語ではまだ難しく、課題である。
- ・ 2024 年の後半は、選挙に関する話題の多い年だった。立憲民主党の代表選があり、自民党総裁選、アメリカの大統領選挙があり、地上波のニュースでは、どうしても短い尺にまとめて放送となる。
関心のある視聴者へ、どのようにしてお届けできるか、となった際に、専門家や担当記者、デスクが映像と共に詳しく時間をかけてお伝えできるのは専門チャンネルの強みである。
こういった番組は今後も続けていきたい。

- 背後の音の入り込みについて、広い報道フロアの中に専用のスタジオがあり、そこでキャスターがニュースを読んでいる。
スタジオの上部が空いているため、速報等があるとどうしても報道フロアの声などが入ってしまう。
今後、改修する計画があるので、上部の空間がなくなり、ノイズは改善される予定。